

テーマ：北方領土（実践校）

渡島管内 七飯町立大中山中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさと北海道に対する愛着や誇りを育むため、社会科の学習と関連させて、北方領土の自然や歴史等について調べるとともに、北方領土の語り部を外部講師として招聘した講話等を通して、北方領土の特色や自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、社会科の学習や北方領土に関する各種資料、インターネットを使って調べたことから、生徒一人一人が北方領土の特色や歴史、自分たちの生活との関わりなどについて探究的な課題を設定しました。

(2) 情報の収集

千島歯舞諸島居住者連盟の語り部による講話やアニメ動画「ジョバンニの島」の視聴を通して、北方領土の自然や、資源、領土問題について学びました。

また、北方領土問題対策協会、千島歯舞諸島居住者連盟、北方領土復帰期成同盟の Web ページの学習教材を活用し、各自で詳しく調べたいことについて情報を収集しました。

(3) 整理・分析

収集した情報を基に、1人1台端末を活用し、まとめのスライドを作成するとともに、同じ課題を設定した生徒同士で共有し、それぞれの探究的な課題について理解を深めました。

(4) まとめ・表現

作成したスライドを用いて発表し合うことを通して、北方領土の特色や歴史についての理解を深めるとともに、北方領土の問題を身近な問題として捉え、北方領土に対するこれからの願いを考えることができました。

②生徒の感想等

- ・北方領土は遠い地域の問題とと思っていましたが、身近な地域の問題として考える必要があると思いました。
- ・住んでいる町から出て行くことになった人たちは、とても悲しい気持ちだったと思います。だから、一日でも早く元島民の皆さんが笑顔で帰ることができるよう、私たちにできることを考えることが大切だと思いました。



【語り部の講話の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- 「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、生徒自身が設定した課題について、探究的に学習を進めたことにより、北方領土に関するアンケートで、「北方領土の自然や歴史、領土の返還について調べたい」と回答した生徒の割合が 65%から 75%に、「北海道や自分たちの住んでいる地域に、誇りや愛情をもっている」と回答した生徒の割合が 90%から 92%にそれぞれ増加するなど、自分たちの住んでいる地域や北方領土に対する興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 自分たちの住んでいる町や北海道への愛着や誇りをより一層育むことができるよう、各教科等の学習内容と関連付けるなど、カリキュラム・マネジメントを図る必要があります。